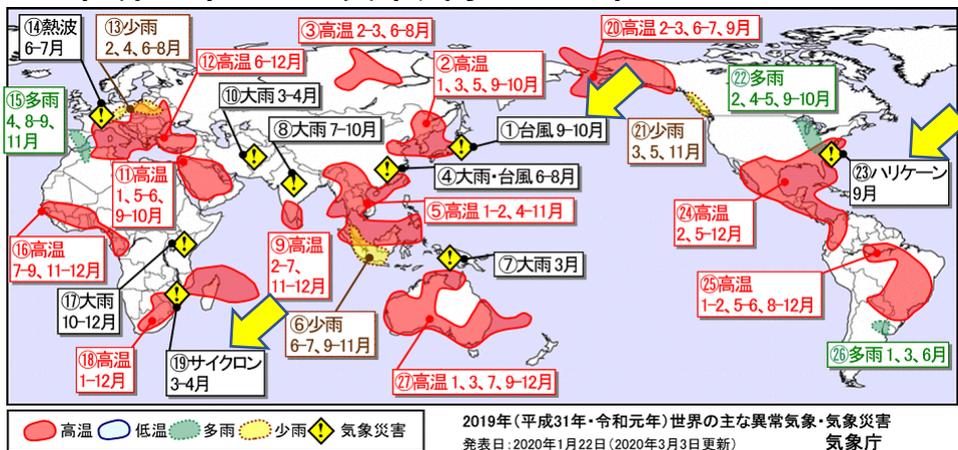


熱帯低気圧

気象庁は、台風第14号に関する情報 第135号(2022年09月20日11時34分)で、「台風第14号は三陸沖で温帯低気圧に変わりました。温帯低気圧は今後、日本の東を北東へ進む見込みです。西日本から北日本にかけて、うねりを伴った高波に警戒してください。また、東日本と北日本では土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒してください。」と発表しました。これが最後の台風14号情報でした。そうして右の第07の03号が、台風14号に関する情報の始まりでした。

「これまでに経験したことのない...」という気象に関する表現を聞く機会が多くあります。気象庁が整理した世界の異常気象に関する情報の2019年半には、つぎの図があります。

世界の年ごとの異常気象 --2019年



https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/annual/annual_2019.html

台風14号の「熱帯低気圧→台風→温帯低気圧」という過程にふれた今、世界の台風仲間を調べてみました。

EOブラウザのセンチネル3データ(OLCI 光学観測)で、過去の観測データを探りました。過去に大きく報道されたハリケーンとサイクロンを対象にしました。

発達する熱帯低気圧に関する情報 第07の03号
2022年09月13日22時15分 気象庁発表

熱帯低気圧が今後24時間以内に台風に発達する見込みです。

13日21時の観測によると、熱帯低気圧が日本の南の北緯22度10分、東経139度35分にあつて、ゆっくりした速さで東北東へ進んでいます。

中心の気圧は998ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は15メートル、最大瞬間風速は23メートルとなっています。

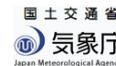
熱帯低気圧は今後24時間以内に台風となる見込みで、その中心は、24時間後の14日21時には日本の南の北緯23度25分、東経139度25分を中心とする半径130キロの円内に達する見込みです。

*以下略 構成変更



<https://www.jma.go.jp/bosai/information/typhoon.html>

気象庁→知識・解説→台風について



台風とハリケーンとサイクロンの違いは何ですか？

台風は、東経180度より西の北西太平洋および南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、最大風速が約17m/s以上になったものを指します。ハリケーンは、北大西洋、カリブ海、メキシコ湾および西経180度より東の北東太平洋に存在する熱帯低気圧のうち、最大風速が約33m/s以上になったものを指します。サイクロンは、ベンガル湾やアラビア海などの北インド洋に存在する熱帯低気圧のうち、最大風速が約17m/s以上になったものを指します。(以下略)

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/faq/faq14.html>

気象予報士の方の「お天気サイト」に、ハリケーンやサイクロン等の発生場所の説明図を掲載します。発生場所で名称が異なることが分かります。

<https://kumazawarie.com/tenki/cyclone/>

熱帯低気圧の観測画像の比較

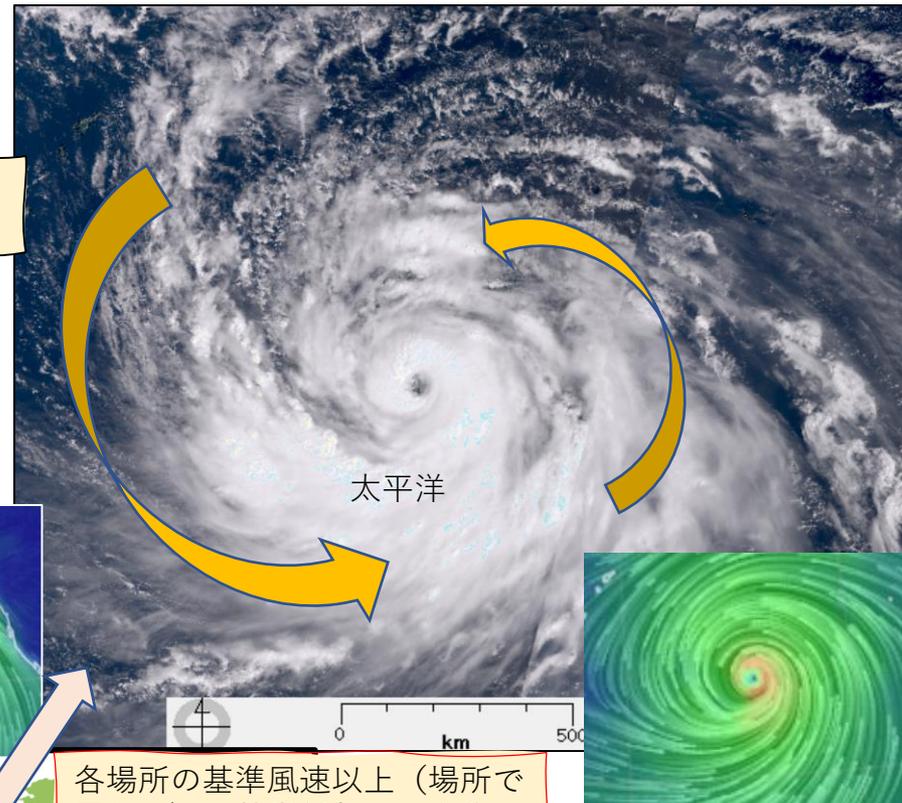
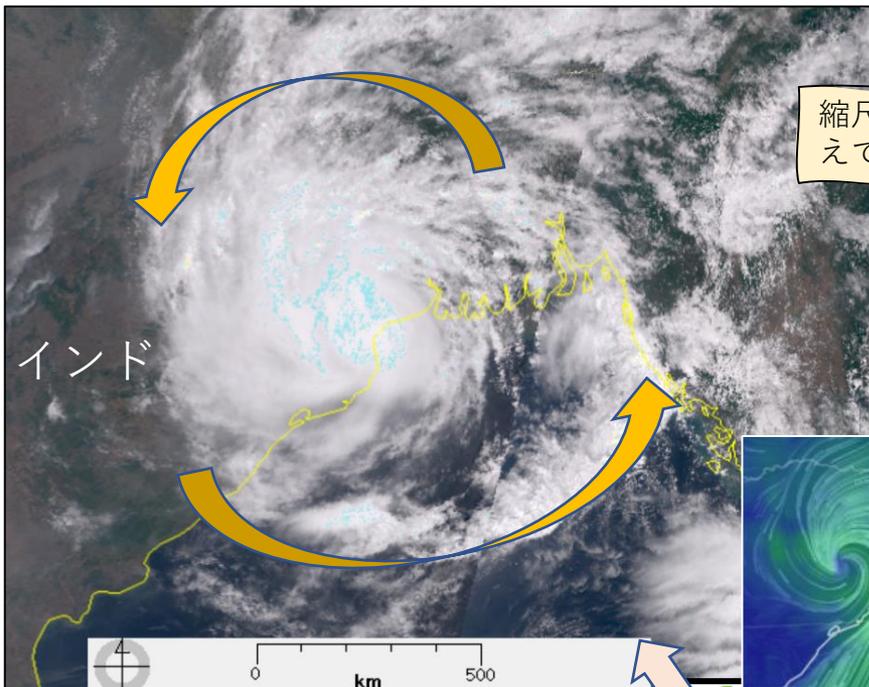
台風「14号」

2022-09-16

おなじこととちがうことは何？

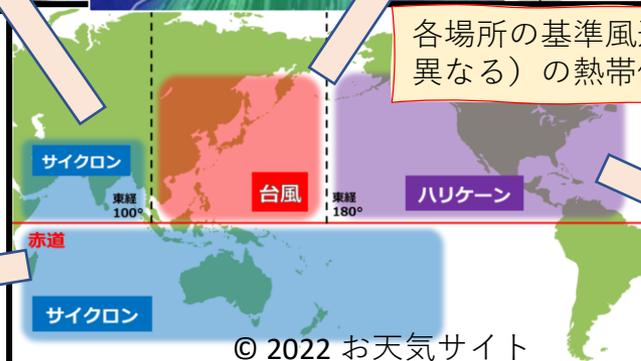
サイクロン「ヤス」

2021-05-26



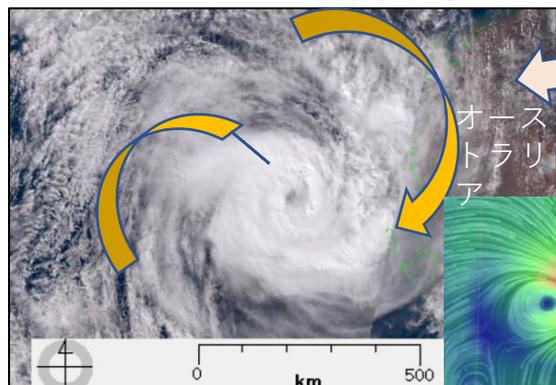
発生時期も発生条件は異なりますが、風向きはどうでしょう。

各場所の基準風速以上（場所で異なる）の熱帯低気圧の名称



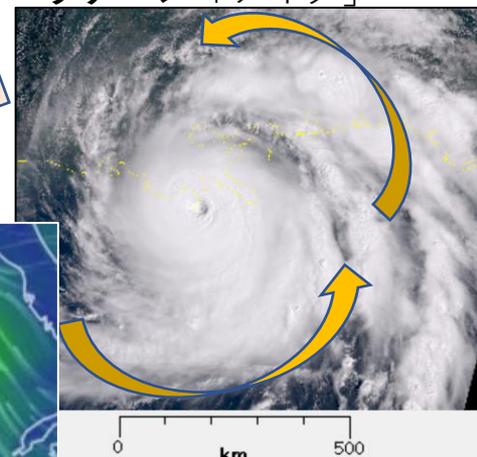
サイクロン セロージャ

2021-04-11



ハリケーン「アイダ」

2021-08-29



Earth地球の風サイトで観測時頃の「風」を確認

©earth.nullschool

<https://kumazawarie.com/tenki/cyclone/>